



市田灯籠流し・大煙火大会

毎年8月18日の夜を彩る光のページェント。天竜の川面に揺れる灯籠、圧巻の花火の競演は、もうすぐ百年目を迎えます。

宝の森だね！ 高森町



天伯峡・ほたるの里

毎年6月中旬から下旬にかけて多くのゲンジボタルが飛び交います。互いに呼応しあって光るさまは夢のように幻想的です。

高森カントリークラブ

南アルプスを望む本格派コース
TEL.0265-35-3355



信州たかもり温泉 湯ヶ洞・御大の館

南アルプスを見晴らす絶景の天然ラドン温泉、滋味深い郷土料理でおもてなし。日帰り入浴・食事・宴会・宿泊とご利用いただけます。



高森南小学校の桜

日本さくらの会から「日本一の学校桜」として紹介されたことも。広い校庭を囲む大木のソメイヨシノが一斉に花咲く光景は圧巻です。



名勝 不動滝

高さ約50mを流れ落ちる清流が、癒しのミストを発生します。春の新緑、夏の涼やかさ、秋の紅葉もお薦めです。長野県自然百選のひとつ。



ハーモニックロード

中央アルプス山麓に沿って走る高原ロード。美しい南アルプスの雄姿を遠望できます。

美味特産品

大きな標高差と日照時間、そして豊かで多様な自然風土に恵まれた高森町は、市田柿をはじめ「美味しい」素材の宝庫。安全安心な果物・野菜・米をはじめ、ご家庭で、あるいは大切な人への贈答品として、旬の採れたてをどうぞ。

●**フルーツ** ※果物狩りのご予約
高森町営農支援センターゆうき
(TEL.0265-35-3044)

りんご

8月中旬から12月下旬にかけて、つがる・陽光・シナノスイート・シナノゴールド・秋映・王林・サンふじと、多彩な品種が味わえます。

ぶどう

8月から10月まで、おなじみの巨峰・ピオーネのほか、種が無く皮まで食べられるナガノパープル・シャインマスカットが人気です。

もも

7月から8月にかけて、白鳳・あかつき・ネクタリンなどが市場や直売所を甘い香りで包み込みます。贈答用にも大人気。

なし

9月から10月を中心に、幸水・豊水・南水・二十世紀など、個性豊かな味わいとみずみずしい食感が楽しめます。洋ナシも充実。

さくらんぼ

6月が最盛期となる果樹のトップバッター。設備が充実したハウスで、一粒ずつ採って食べるサクランボ狩りが大人気。

◆このほかにも、ブルーベリーやイチゴのほか、珍しい品種など多彩なフルーツが収穫されます。



●市田酪農の牛乳・ヨーグルト

注文を受けてから地元酪農家が搾り取る新鮮な生乳で作られます。全国のファンがリピートする牛乳とヨーグルト。工場となりの直営ショップでもどうぞ。

●ご当地どんぶり「アルプスサーモン丼」

純伊那谷産アルプスサーモンの鮮やかな赤みが、特産「市田柿」の色を連想させることから、高森町初のご当地どんぶりとして誕生。脂がしっかり乗った切り身を、町内数店舗による多彩な味付けで丼に仕上げます。是非ご賞味を!



亀之丞は、今川氏の討手から逃れ、浜松の龍潭寺と法縁深い信州の松源寺で9歳から20歳までの10年余を過ごしました。



亀之丞は、地元の領主「松岡氏」の保護を受け、家臣から武術を習ったとされます。愛笛「青葉の笛」を奏でる亀之丞は、松岡城から見晴らす南アルプス越しに、遠く故郷の井伊谷を偲んだことでしょう。



女城主のいいなずけ
亀之丞(井伊直親)
この地で青年に育つ

直虎

ゆかりの地
南信州
高森町

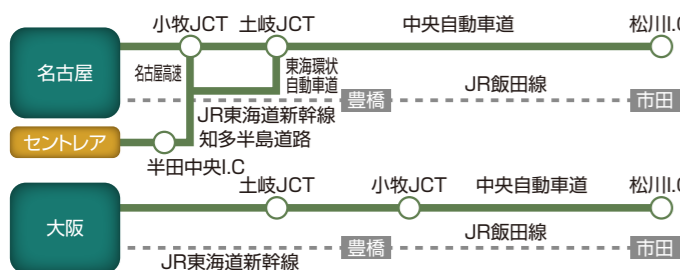
亀之丞を食んだ風土は
やがて珠玉の干し柿を生む
市田柿発祥の里、高森町



南信州 高森町

2017年 大河ドラマ「おんな城主 直虎」の舞台

高森町へのアクセス



| | | |
|--------|----------|------------|
| 東京 | 名古屋 | 大阪 |
| 中央自動車道 | 東海北陸自動車道 | 東名・新東名高速道路 |
| JR飯田線 | JR飯田線 | 東海道新幹線 |
| JR中央東線 | JR東海道新幹線 | |
| 豊橋 | | |

高森町までの交通所要時間

| 東京⇄高森町 | 名古屋⇄高森町 | 大阪⇄高森町 |
|---------------------------|---------------|---------------|
| 自動車で…約3時間 | 自動車で…約1時間20分 | 自動車で…約3時間30分 |
| 高速バスで…約4時間 | 高速バスで…約2時間20分 | 高速バスで…約4時間20分 |
| 電車で…約4時間30分 (新幹線利用の場合) | 電車で…約3時間20分 | 電車で…約4時間20分 |

長野県 高森町 〒399-3103 長野県下伊那郡高森町下市田2183-1
[高森町役場 観光担当：産業課] TEL.0265-35-3111 FAX.0265-35-8294
(平成28年度 長野県 地域発 元気づくり支援金活用事業)





1544 (天文13) 年、井伊直満は今川義元に謀殺され、直満の長男・9歳の龜之丞の命も危険に。今村藤七郎は龜之丞をカマスに入れて背負い、夜に紛れ井伊谷を出て、澁川東光院へと脱出。許嫁(直盛の娘)を残して...



しかし澁川にも追手が迫り、1545 (天文14) 年正月三日の夜、東光院の能仲和尚の案内で信州市田郷の松源寺へ落ち延びた。その途中で右近次郎に弓矢で狙われたが危うく逃れたという。



今村藤七郎と共に松源寺に辿りついた龜之丞は、住職から学問を教わって育つ。一方、井伊谷では、事情を知らず龜之丞の死を確信した許嫁(直盛の娘)は、出家して「次郎法師」と名乗ることに。



当時の信州市田郷を支配していた松岡氏の領主・貞利は、龜之丞を保護し、堅固で雄大を誇る松岡城の侍たちに、武術や弓馬の稽古をつけさせた。



やがて青年となった龜之丞。故郷を偲んで奏でる愛笛「青葉の笛」の音がこの地に響いたという。笛を教えたもらった「お千代」とは深い仲となり一子をもうけたといわれる。



20歳の龜之丞は、井伊谷に戻り井伊直親を名乗る。嫡子・虎松(後の井伊直政)を儲けるが、27歳で非業の死を遂げる。そこで次郎法師が「女城主・直虎」として虎松の後見し、井伊家存続の危機を救った。

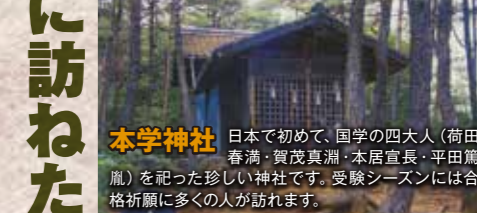
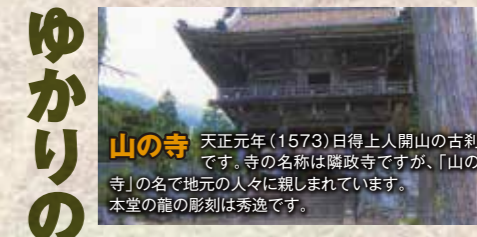
龜之丞(井伊直親)は信州で命をつなぎ、20歳で井伊谷に戻る



龜之丞(直親)の逃避ルートは?

井伊家の命運を託された龜之丞(直親)が、1545(天文14)年正月、遠州から南信州に逃げ延びたルートは謎に包まれている。次の3通りが考えられるが、果たして真相は?

- ① 秋葉街道ルート...水窪から青朋峠を越え遠州郷を経由
- ② 遠州街道ルート...国道151号線と同じく新野峠を越え
- ③ 天竜川沿ルート...人目少なく山谷を超え天龍村を経由



歴史ロマンに彩られた高森町は「市田柿」の発祥の里

高森町キャラクター 柿丸くん

知ってる?
12月1日は市田柿の日!

日本記念日協会2013年登録

市田柿の特徴
一口サイズの小さな干し柿で、もっちりとした食感と上品な甘さが特徴です。表面の白い粉は、干し上げる過程で果実内部から染み出したブドウ糖の結晶です。果肉はきれいなあめ色です。

市田柿の収穫
10月下旬から11月中旬頃まで渋柿の収穫。

市田柿の乾燥
皮を剥いた原料柿は、専用の干し場で吊るして干します。

市田柿の仕上げ
吊るし干し(はぎ干し)が終わると、天日干しや柿揉み粉出し(寝かせ込み)が行われます。

市田柿の味
皮むきから30~40日ほどでできあがります。

市田柿の活用
美しい餡色の実は、白く上品な糖分の衣をまとった状態でパッケージング。いよいよ出荷です。

市田柿をスライスして、チーズやバターと合わせれば、ワインに添えるつまみとして最高! 乳製品と相性がよいので、ちょっとした工夫で味わいもいろいろです。

バターやクリーム、チーズをはさんで市田柿ミルフィーユ
ヨーグルトに入れてもおいしい!

※干し柿にはビタミンやミネラルの他、食物繊維やポリフェノール(カキタンニン等)が多く含まれています。